

日本港湾経済学会全国大会の開催報告

山 村 學

1999年の10月20日(水)から10月22日(金)にかけて第38回日本港湾経済学会全国大会が清水港(マリンビル)で開催されました。この開催担当校は本学ですが県・市当局や有力の団体会員等の絶大なる御協力によって、清水港開港100周年記念のアカデミックな事業としても位置づけられたわけであります。

本大会には韓国、台湾、中国等の東アジア諸国会員をはじめ、国内各地会員や地元関係者等約400名が参加し、その概要については新聞各紙やテレビを通じて紹介されました。本学からは4名の先生方が研究発表を行っており、その展開内容は研究論文として学会年報『港湾経済研究』NO.38 (THE ANNUAL OF JAPAN PORT ECONOMICS ASSOCIATION) に集録され、間もなく発刊される予定です。したがって、本誌では参考資料として「研究報告概要集」の中から本学の先生方4名分を抜粋して紹介すると同時に、「全国大会開催案内」を添付しておくことにします。

なお付記になりますが、県・市当局から発刊される予定の『清水港開港100周年記念事業誌』にも、本学会の開催内容が掲載されることになっています。

記

添付参考資料

1. 日本港湾経済学会 第38回全国大会
報告概要 4編(本学教員分のみ)
2. 第38回日本港湾経済学会
全国大会案内(プログラム)

以上

(追記)

本大会においては、開催担当校として本学の案内を幅広く配布しておりますので、念の為申添えます。